

石越中の復旧工事始まる



石越中学校の完成予想図



現在、石越中学校の生徒たちは、石越総合運動公園内にある仮設校舎を使用しています



▶震災で基礎部分などが大きく損壊した石越中学校舎（平成23年3月）

年度内の完成目指す

東日本大震災で被災し使用不能となった石越中学校（生徒134人）で、災害復旧に伴う新築工事が本格的に始まりました。

4月24日には建設予定地で工事の安全祈願祭が開催され、関係者約50人が出席。神事後、布施孝尚市長が「1日も早く子どもたちが安心して伸び伸びと学び、友達との語らいができる環境にしたい」と述べました。

新校舎は、旧校舎を解体中の同敷地内に建設されています。鉄筋3階建てで延べ床面積は約2900平方メートル。併せて、鉄筋一部鉄骨2階建て延べ床面積約1600平方メートルの屋内運動場も整備します。事業費は約14億8000万円です。今年度中の完成、平成26年度からの使用を予定しています。

▶建設場所で行われた安全祈願祭でくわ入れする布施市長（4月24日）



石越中学校は、一昨年3月の震災で校舎の基礎部分などが大規模損壊しました。調査の結果、継続使用は危険と判断し、その年の8月中旬から翌年の1月上旬までは中田町にある旧上沼小学校を仮校舎として使用。その後、石越総合運動公園内に建設した仮設校舎を使用しています。